

リウマチニュース

平成19年8月号

【本当に怖いです】

地震、怖かったですね。まだ、3年も経っていないというのに、『どうして新潟県ばかりが』と感じているのは私だけではないはず。被災された方、また中越地震のことを思い出して、不安がよみがえった方、皆さまの思いは様々だと思います。

同じような記事を実は2年前にも掲載しましたが、普段からの備えが本当に重要なんだなあつくづく感じます。

このたび、当センターでは被災地域にお住まいの患者さま118名に現在の状況確認のためお電話をさせていただきました。突然の連絡に戸惑われたかと思いますが申し訳ありませんでした。しかし、状況確認ができたことにより、速やかに対処できたと評価しております。

今回の一連の経緯から、皆さまにお願いしたいことがございますので、お知らせいたします。



住所変更は、なるべく速やかにお知らせください。

今回電話をするにあたり、登録されている住所や電話番号を活用しました。そのため、中には現在使用されていない電話番号があり、なかなか連絡の取れない方がいらっしゃいました。ですから、変更された場合はその旨お知らせいただけますようお願い致します。

リウマチの薬の名前がわかるようにして下さい。



リウマチの薬の中には、毎日必ず飲まなければならない種類の薬があります。

災害により、薬を紛失した場合には、当院もしくはお近くの病院から処方してもらう必要があります。

そのためには、自分が何の薬をどのように飲んでいるのかがわからないと大変困ります。

普段から、薬の名前や種類は、必ずわかるようにしておいてください。たくさんある薬の名前を全て覚えるのは大変でしょうから、例えば避難袋の中に薬局からもらう薬剤情報の用紙を入れておくのもいいかもしれません。

避難袋は定期的に点検しましょう。

ある方のお話ですが、地震が起きた時に避難袋を持ち出そうとしたら、食料が賞味期限切れになっていたとのこと。その方は、大きな被害には遭われなかったそうですが、時々点検しなければならないと思ったそうです。

先ほどの薬に関することですが、避難袋の中に予備の薬を入れておくのもいいかもしれません。この場合は、薬が古くならないように、処方たびに新しいものと交換してください。



【交流会、行いました。】

7月11日、2階情報センターにて交流会を行いました。当日は、悪天候でキャンセルが相次ぎ、参加された方が4名と予定よりも少し寂しい人数ではありましたが、皆さん積極的にお話くださって、会を盛り上げていただきました。ありがとうございました。

お話を伺っていて感じたことは、どの方も痛みのある中で、少しでも前向きに過ごしていらっしゃるのだということです。さまざまな趣味を楽しんだり、お友だちと一緒に過ごしたり、また映画やお笑い番組をみて、気分転換したりと本当に上手にご自身の心を元気にさせるような努力をされていました。

こういう風にお互いに話し、認め合うということは、大変有意義なことです。今後もいろいろな形でこのような場が提供できたらと考えています。

